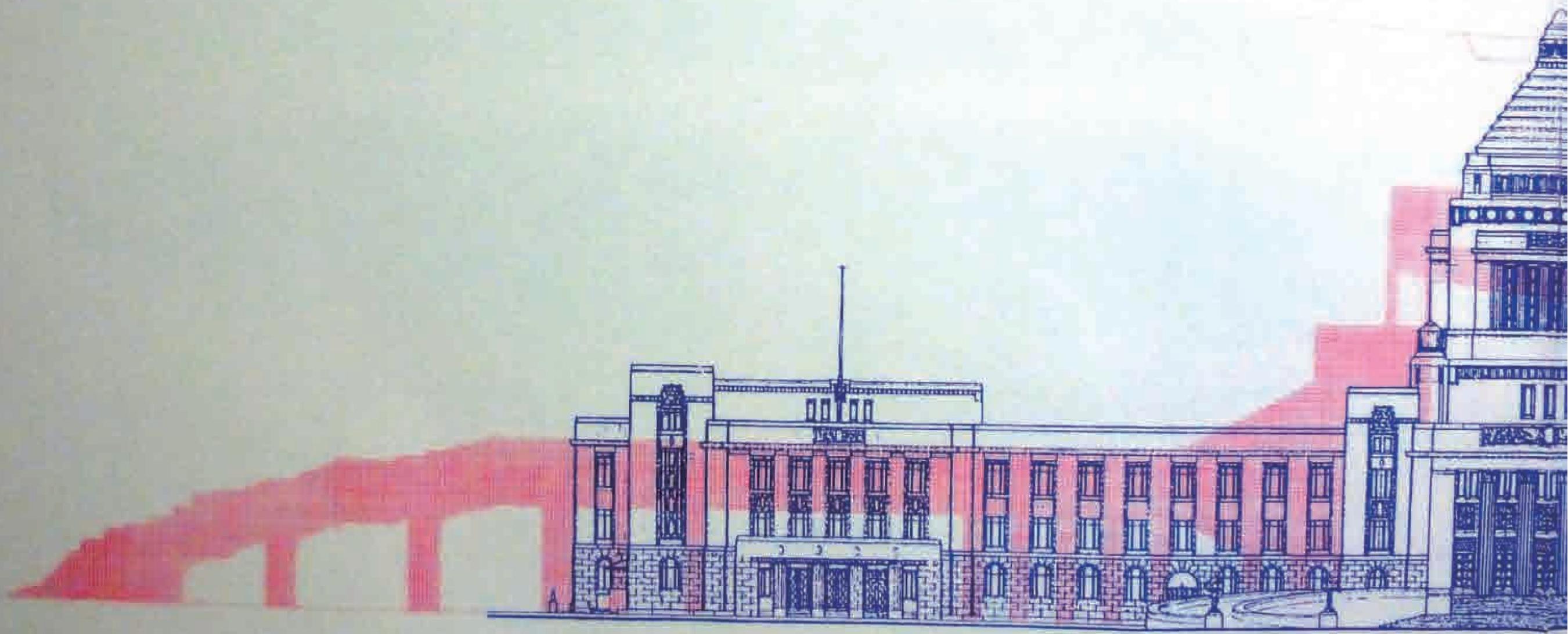
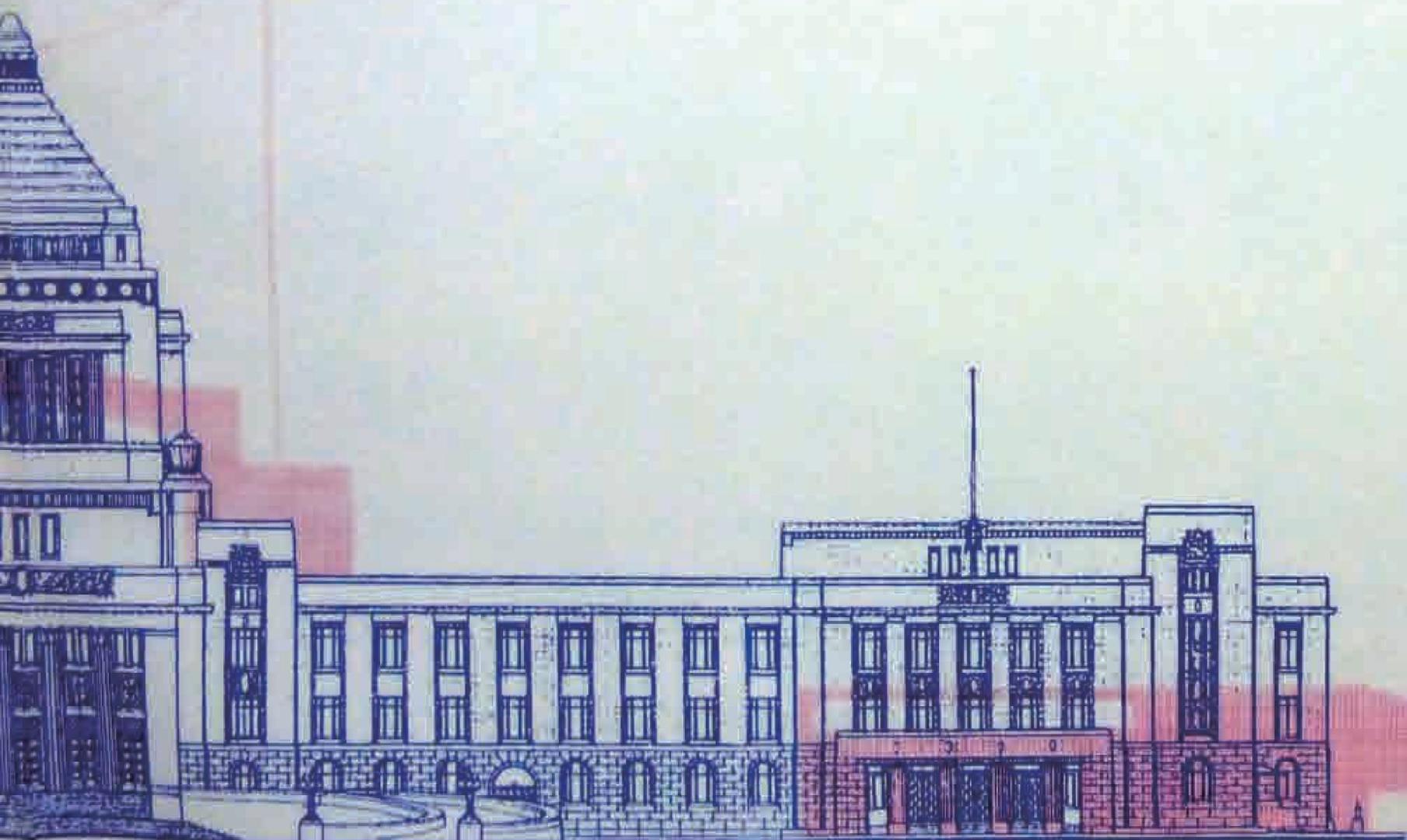
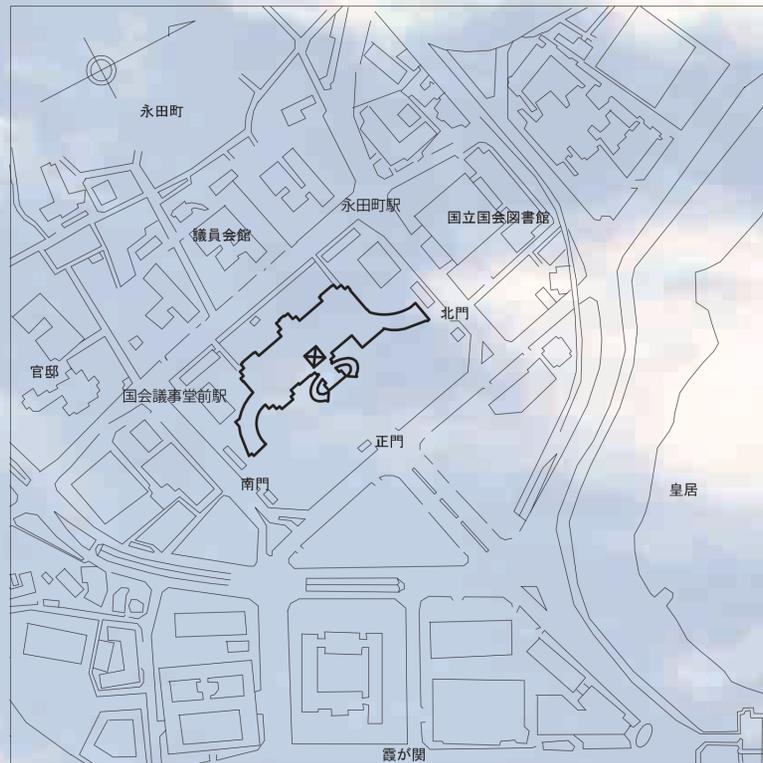


「国会議事堂改革 ～侵食するジャングルジム～」 中里祐紀子







配置図 1:5000



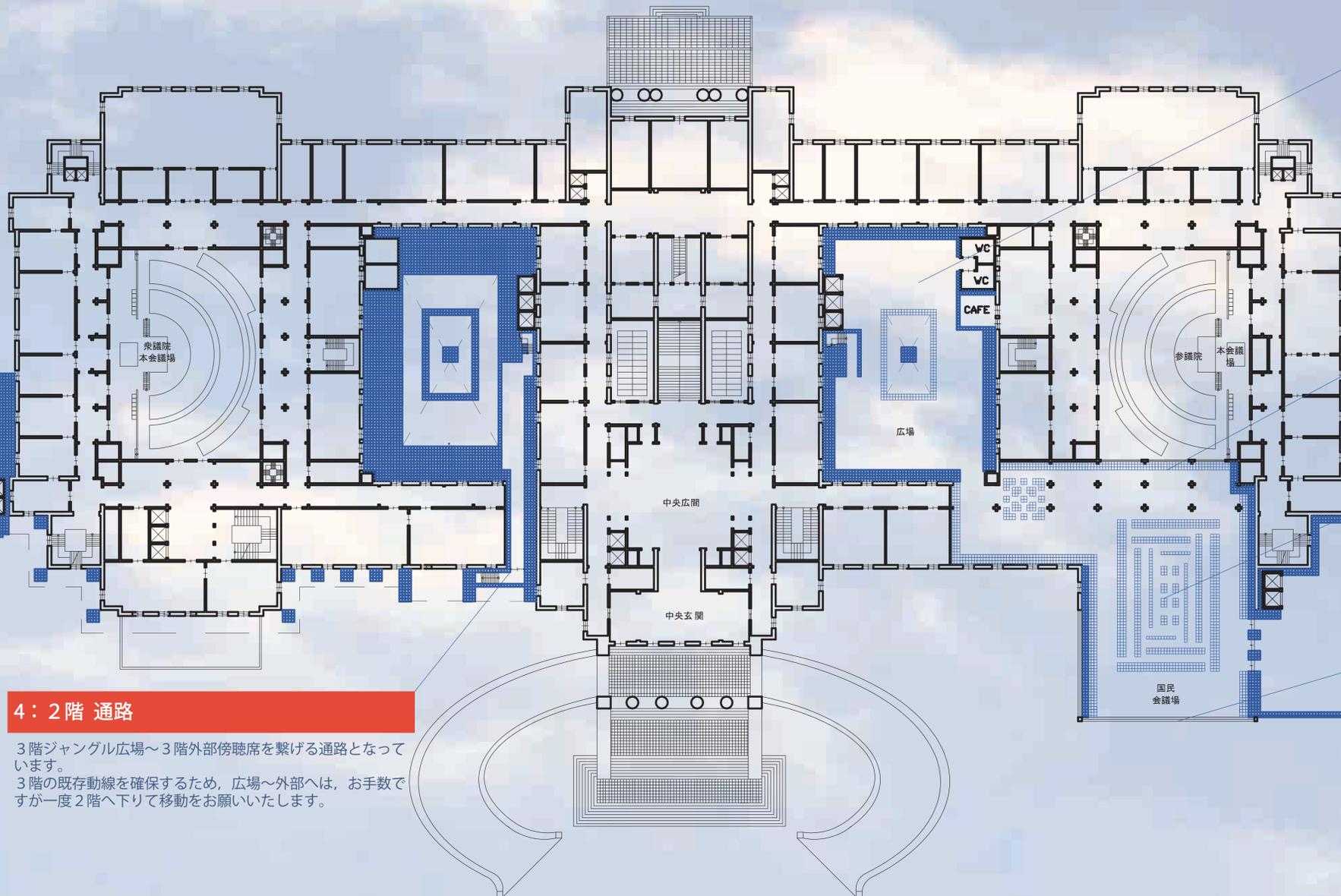
5: 踊り場

衆議院健脚コースは段数が多いため、広い踊り場を設けています。
途中休憩や遊び場としてご利用下さい。



4: 2階 通路

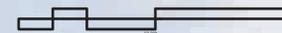
3階ジャングル広場～3階外部傍聴席を繋げる通路となっています。
3階の既存動線を確保するため、広場～外部へは、お手数ですが一度2階へ下りて移動をお願いいたします。



7: 参議院・広場

広場の中央には噴水を設置し、ジャングルベンチを設け、周囲の部屋もジャングル

2階平面図 1:500



4階平面

望める吹き抜けの周りと、広場を囲うように配置していますので、休憩所としてご利用ください。ジャングルジム越しに覗いてみましょう。

6：参議院・傍聴席

参議院傍聴席は本会議場と同じレベルにあるので臨場感たっぷり。ジャングルジムに座って傍聴。

5：国民会議場

大小の会議場からなる誰でも参加できる国民会議場です。ジャングルジムで造られた段々のいすに座って、国の問題を一緒に考えて見ませんか？周りの傍聴席を使用することもできます。

4：参議院・展望場所

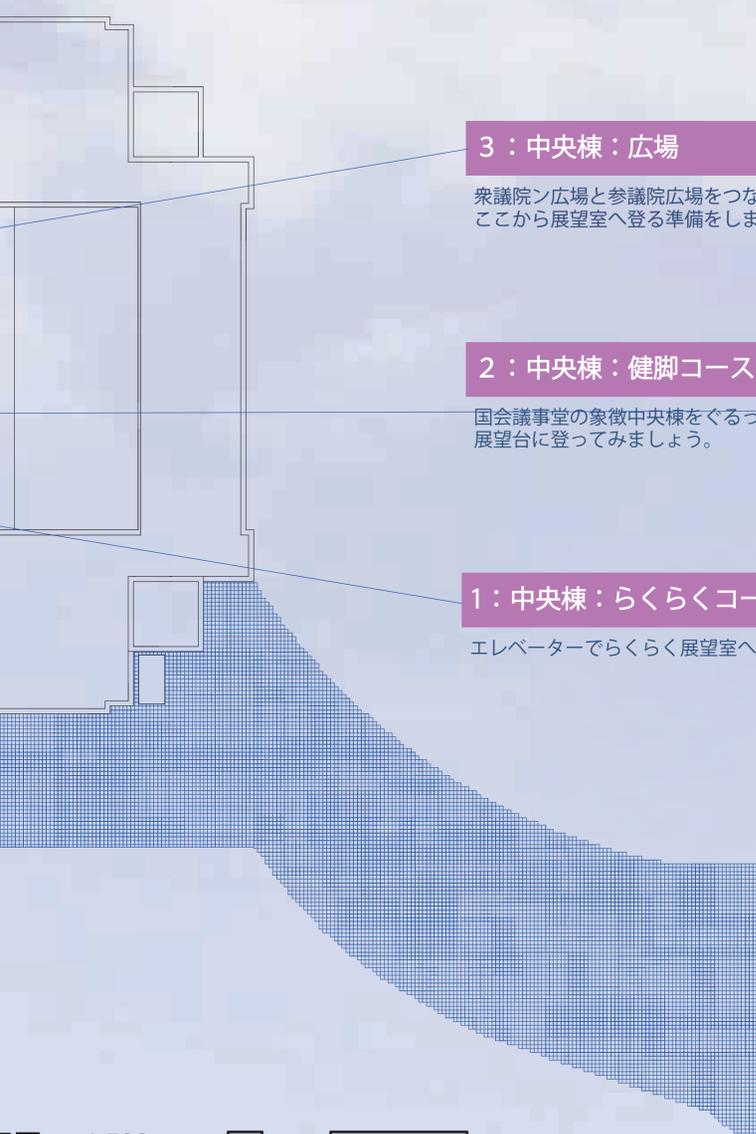
大きなガラス窓をもうけました。ここから前庭を望むことができます。逆に外から国民会議場の様子をうかがうこともできます。

9：4階通路

3階外部傍聴席～4階中央棟を繋げる通路となっています。国会議事堂を乗り越えるような形状をお楽しみ下さい。

8：広場

広場の中央には噴水を望める吹き抜けがあります。周りにはジャングルジムのベンチが設置されていますので、休憩所としてご利用下さい。広場の周囲は議員控え室があります。ジャングルジム越しに覗いてみましょう。



3：中央棟：広場

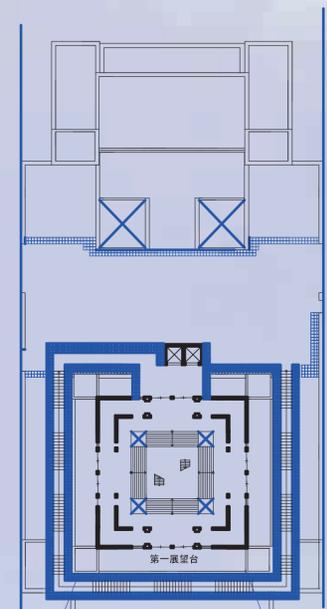
衆議院広場と参議院広場をつなぐ広場となっています。ここから展望室へ登る準備をしましょう。

2：中央棟：健脚コース入口

国会議事堂の象徴中央棟をぐるっとめぐるジャングル階段で展望台に登ってみましょう。

1：中央棟：らくらくコース

エレベーターでらくらく展望室へ登ることができます。



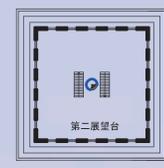
5.5階平面図 1:500

4：中央棟：健脚コース

ここからの眺めは絶景です。皇居や永田町霞が関を一望しながら国会議事堂を攻略しましょう。

5：中央棟：第一展望室

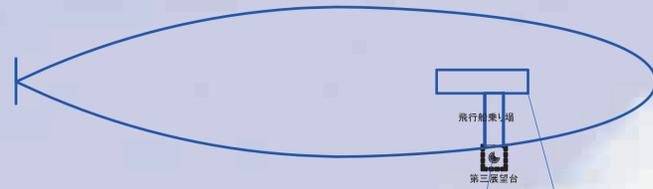
外部に出られる展望室です。らくらくコースはここまでです。



6階平面図 1:500

6：中央棟：第二展望室

窓越しにゆっくり景色を堪能できる展望室です。



7階平面図 1:500

7：中央棟：第三展望室

既存のらせん階段を上ると狭い展望室に到着です。

8：中央棟：飛行船乗り場

可動式飛行船乗り場です。12人乗りの飛行船が停留できます。



§ 問題提起

現在の国会議事堂には限界があるのではないかと。

左右対称型の国会議事堂は、衆議院及び参議院の定数・役割等を反映しずらく、それは今後の国会変動に対応することも困難となりうるだろう。二院制廃止が囁かれる今日、建築から考える「変化に対応できる国会議事堂」とはどういったものだろうか。

国民がもっと国政に興味を持ってもらうためには、国会議事堂を身近に感じてもらう必要がある。現在の国会議事堂は石を多く使用しているため、重圧感が漂うものの閉鎖的な印象を与える。見た目にも開かれた(行ってみたいくなる)国会議事堂となるよう改善する必要がある。

国会議事堂の中でいったい何が行われているか、いつの間にかこんなことが決まっていたのか、驚くことはないだろうか。本来の姿、国民の利益を考える国会議事堂にするために、建築として何ができるのだろうか。

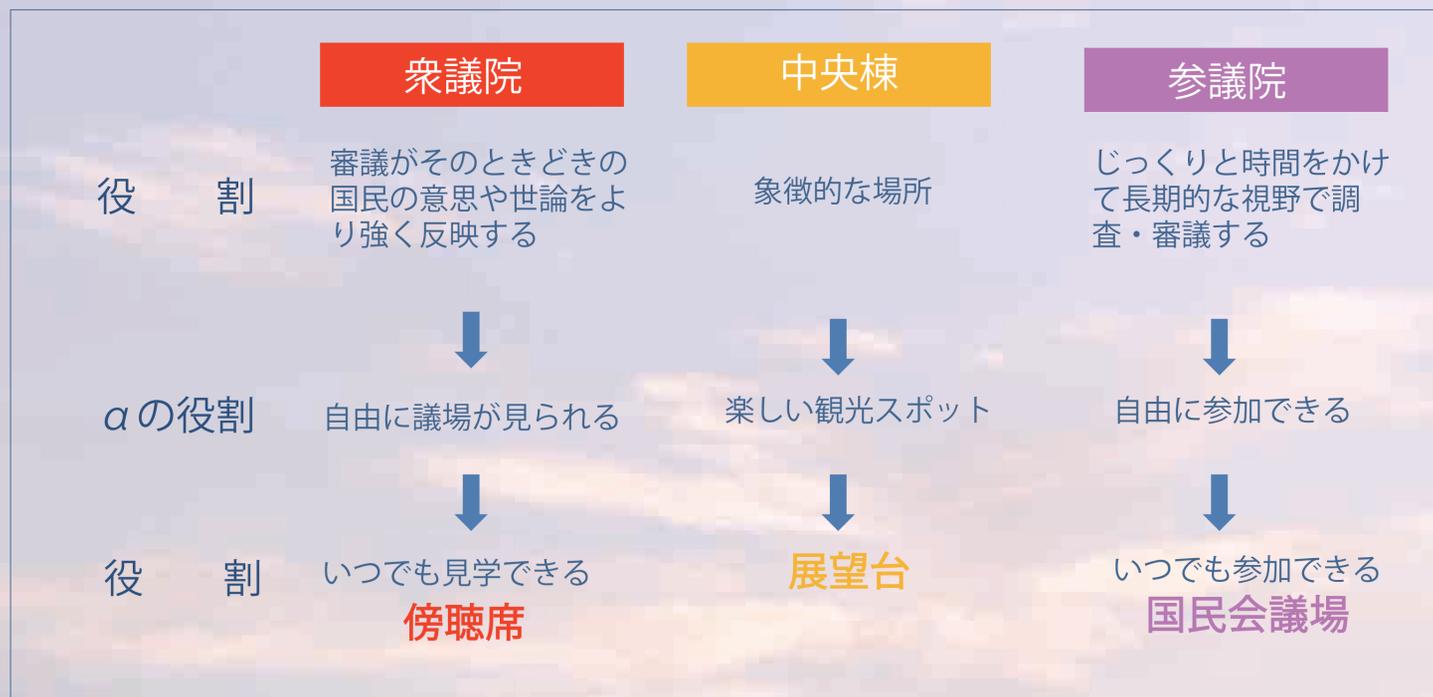
以上、3つのことから国会議事堂改革を考えた。

§ 改革機能

現在の国会議事堂の動線とは別に、足りないもの α の動線を加える。

現在の動線 + α の動線 \Rightarrow 開かれた国会議事堂

α とはなにか。現時点における国会議事堂の役割から α を考える。



§ 改革手段

現在の国会議事堂を建て替えるのではなくプラスすることで、よりよい国会議事堂に生まれかわることができるはずである。低予算、短期間で最大の効果を得られるもの考えた。

ジャングルジムを国会議事堂に張り巡らす

原則1：低予算、短期間で建設するために、

- 原則1：既存の構造をそのまま使用する。
- 原則2：既存の必要な動線は維持する。
- 原則3：1階の事務室部改革には直接関係しないため、現状をなるべく維持する。

原則2：ジャングルジムの構成は原則1より、

- 原則1：既存の構造がある場合は、その構造を壊さず利用する。
- 原則2：既存の必要な動線を確保するために、ジャングルジムは大まわりをすることもある。
例えば、ジャングル階段は、交通の妨げにならないように、わざと傾斜を緩やかにして距離を稼いでいる

利点1：ジャングルジムいろいろな機能をもつ。



傍聴席



遊具



国民会議場

利点3：機能が追加できる

ジャングルジムはある意味仮設である。そのため、将来の国会機能変化や、その時々世論を反映することが可能である。

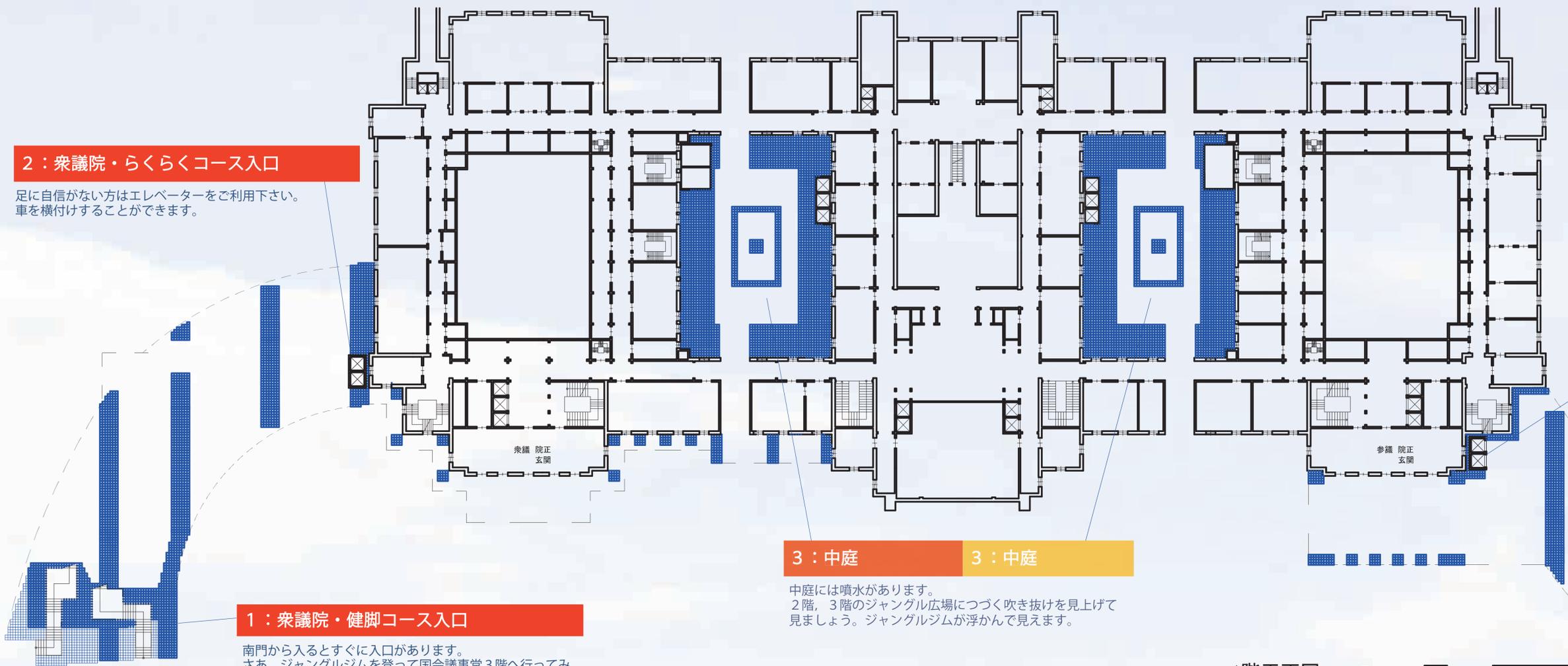
利点4：



国民の国会議事堂奪還



国会議事堂を支える



2：衆議院・らくらくコース入口

足に自信がない方はエレベーターをご利用下さい。
車を横付けすることができます。

1：衆議院・健脚コース入口

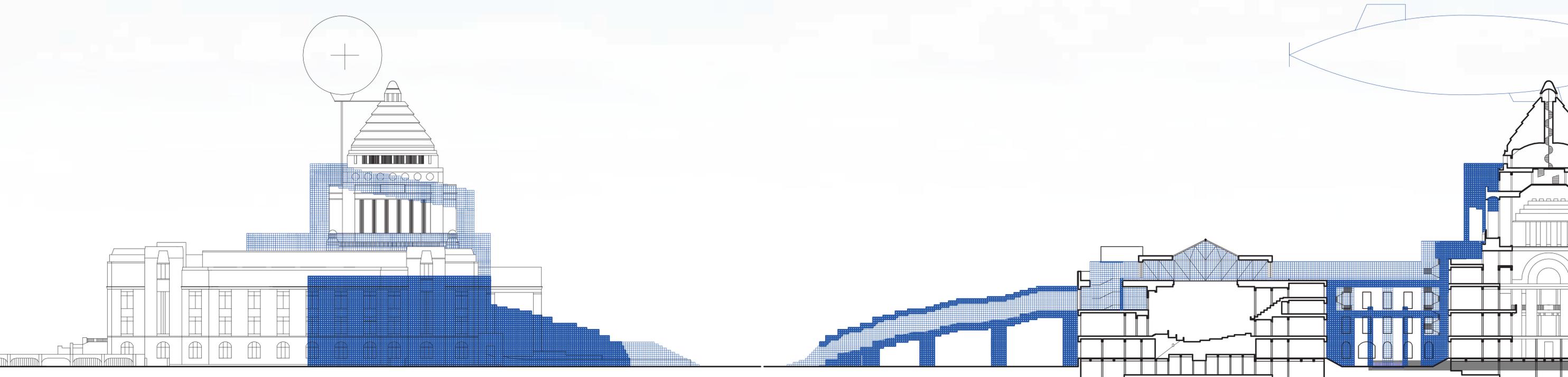
南門から入るとすぐに入口があります。
さあ、ジャングルジムを登って国会議事堂3階へ行ってみましょう。
ジャングルジムを登ることもできます。

3：中庭 **3：中庭**

中庭には噴水があります。
2階、3階のジャングル広場につづく吹き抜けを見上げて見ましょう。ジャングルジムが浮かんで見えます。

2
足に
車を

1階平面図 1:500



東西立面図 1:500

衆議院

参議院・らくらくコース入口

信がない方はエレベーターをご利用下さい。
付けることができます。

1：参議院・健脚コース入口

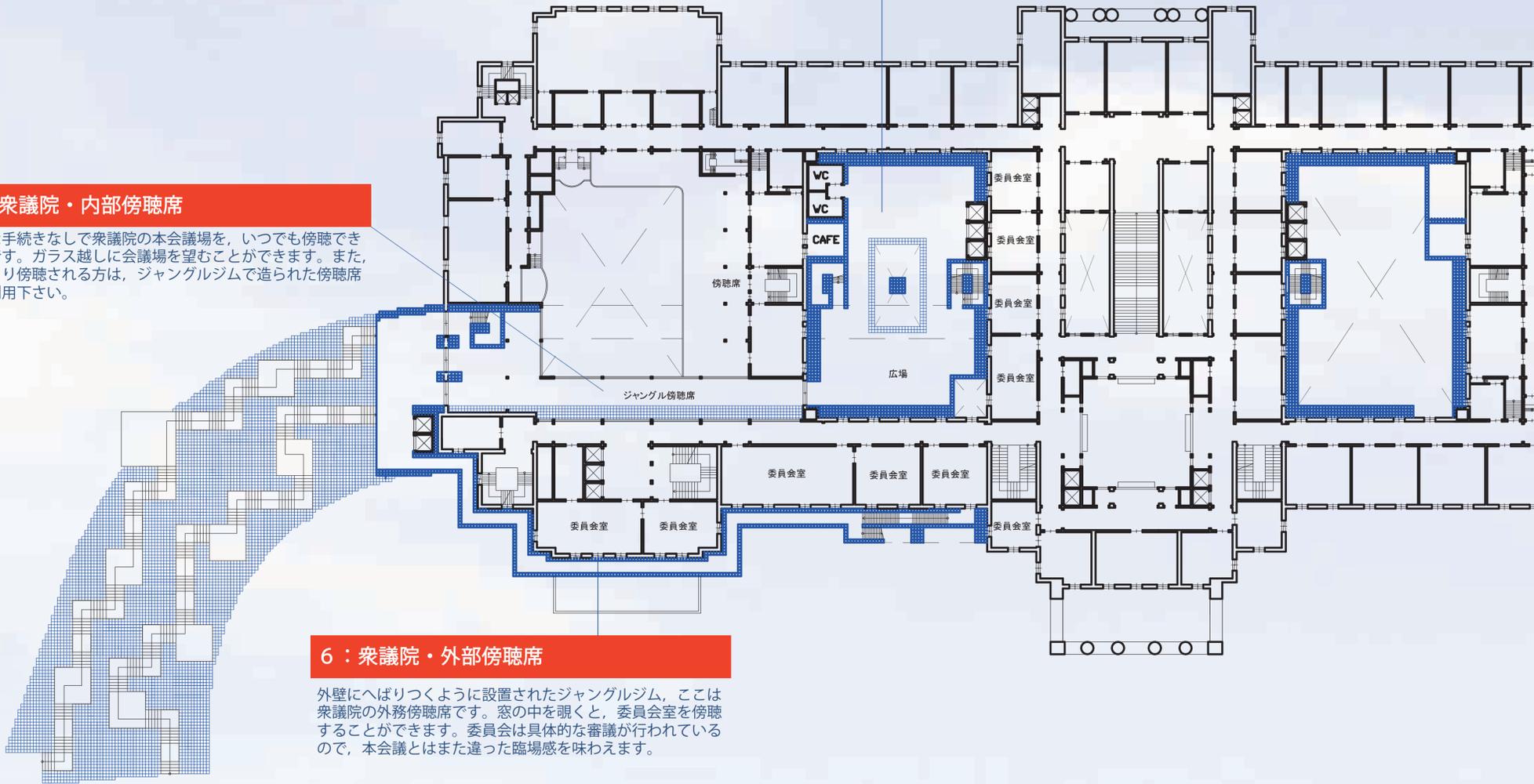
北門から入るとすぐに入口があります。
さあ、ジャングルジムを登って国会議事堂2階へ行って
みましょう。
緩やかな傾斜なので小さなお子様も挑戦できます。

7：衆議院・内部傍聴席

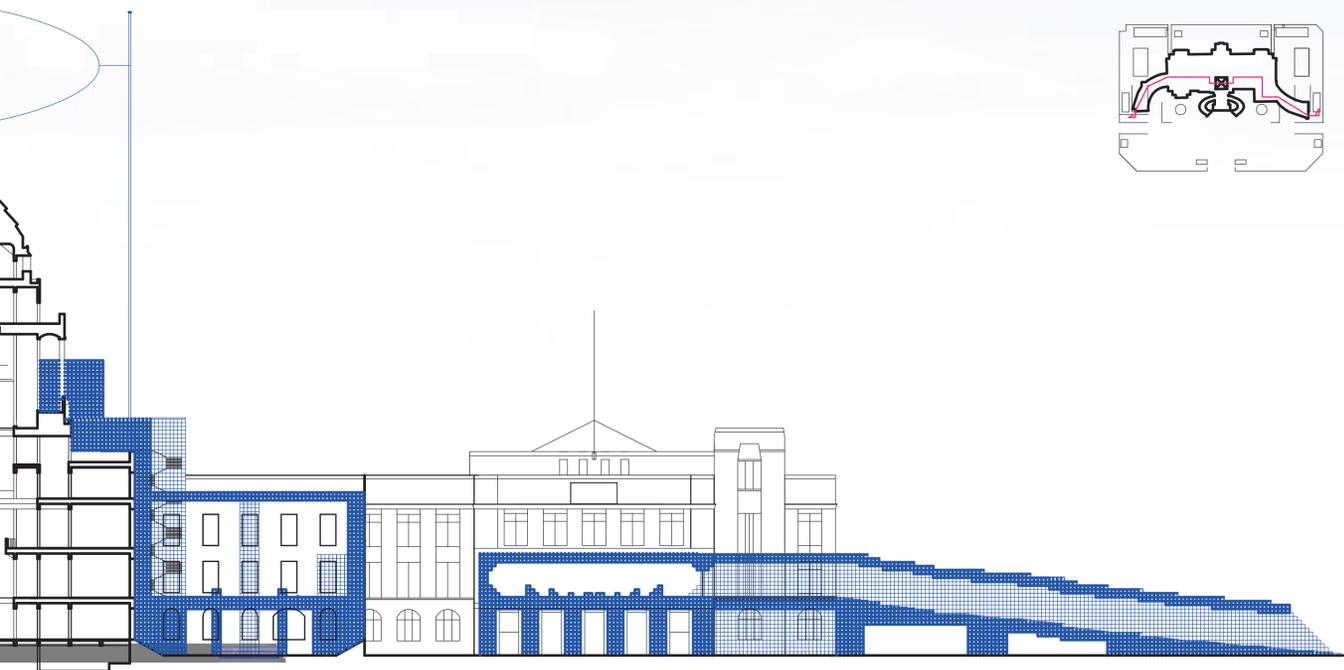
面倒な手続きなしで衆議院の本会議場を、いつでも傍聴できる席です。ガラス越しに会議場を望むことができます。また、ゆっくり傍聴される方は、ジャングルジムで造られた傍聴席をご利用下さい。

6：衆議院・外部傍聴席

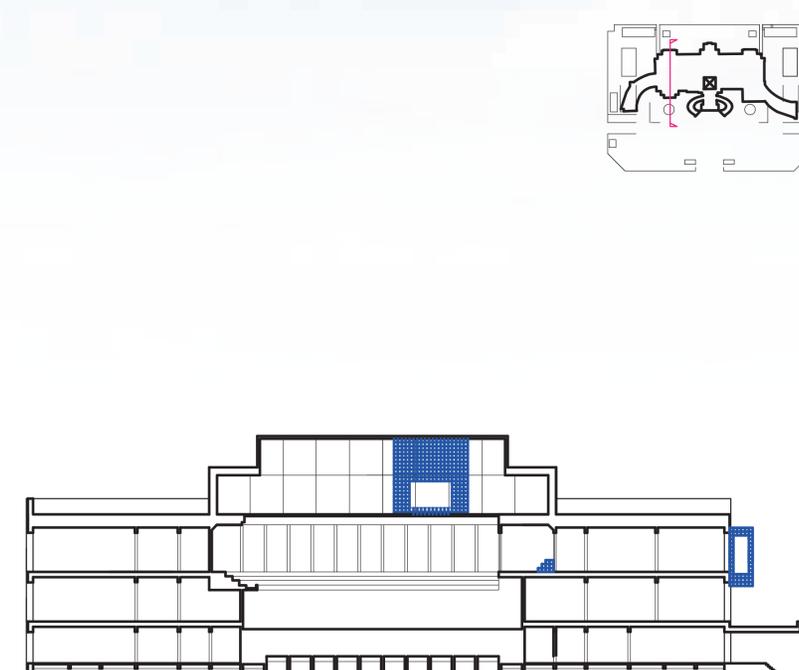
外壁にへばりつくように設置されたジャングルジム、ここは衆議院の外務傍聴席です。窓の中を覗くと、委員会室を傍聴することができます。委員会は具体的な審議が行われているので、本会議とはまた違った臨場感を味わえます。



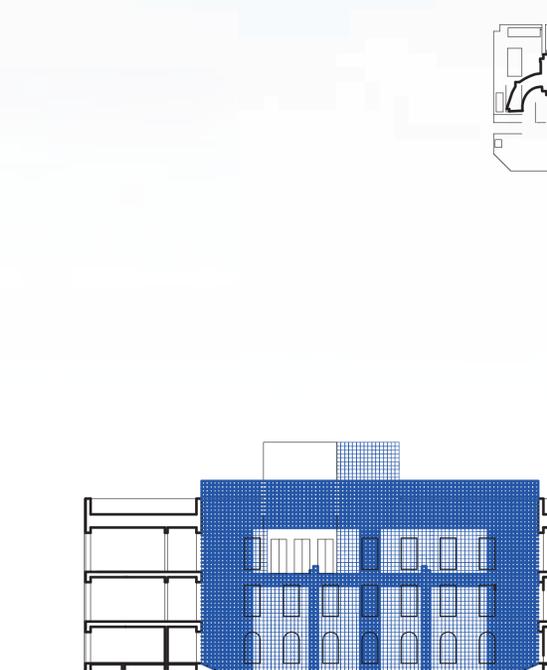
3階平面図 1:500



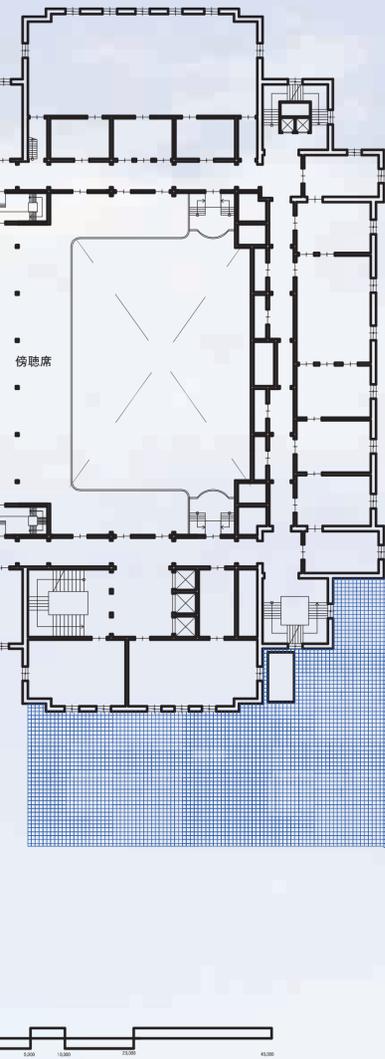
A-A'断面図 1:500



B-B'断面図 1:500



C-C'断面図 1:500

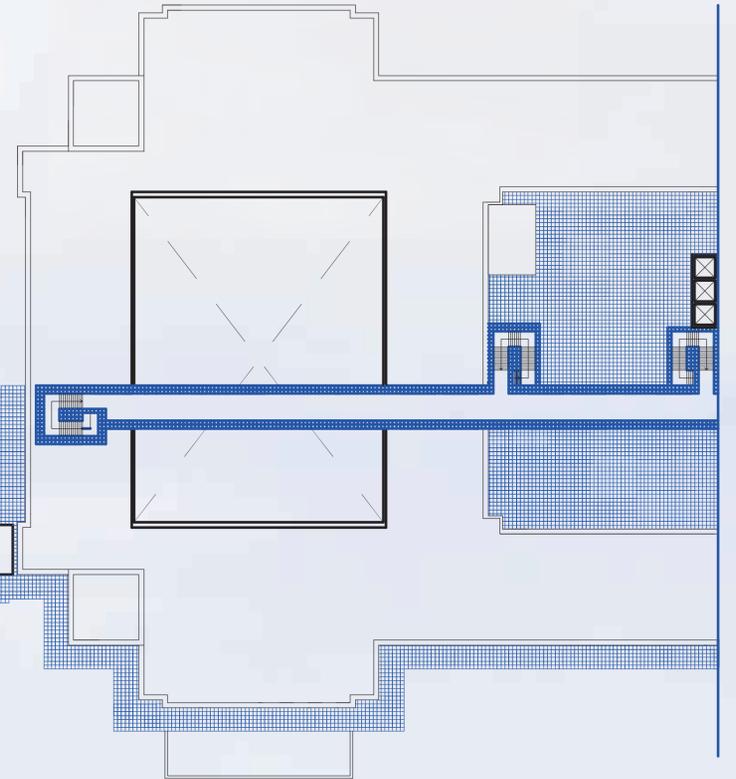


1：参議院・健脚コース入口

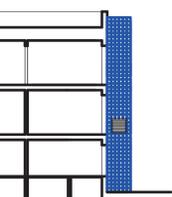
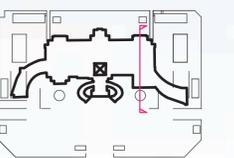
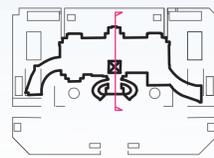
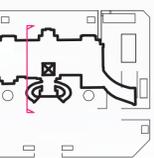
南門から入るとすぐに入口があります。
さあ、ジャングルジムを登って国会議事堂3階へ行って
みましょう。
ジャングルジムを登ることもできます。

10：衆議院・上部傍聴席

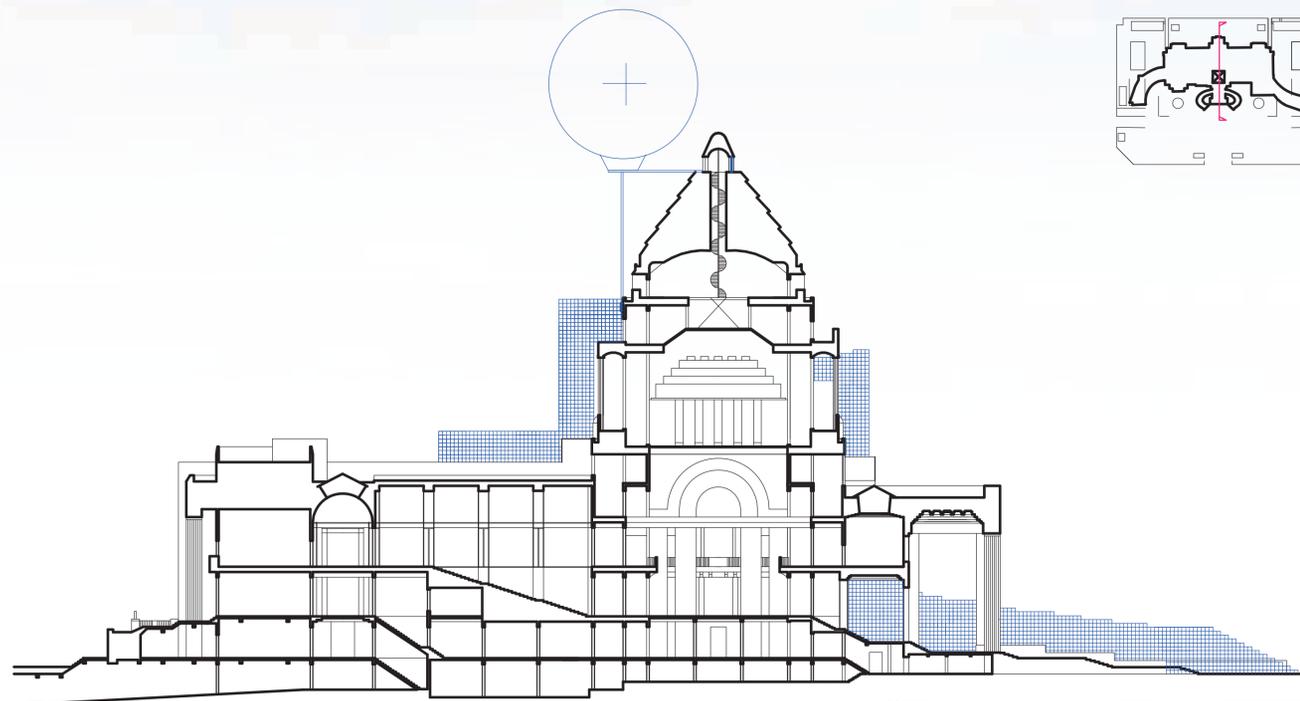
衆議院本会議場の上を通ることができる傍聴席です。
既存の天窗構造はそのままにして、スタンドグラスの天井
を取り除いた後に、ジャングルジムを通しました。
議場を上から見ることで、今までと違った視点から国会を感
じて下さい。



3.5階平面図 1:500



断面図 1:500



D-D'断面図 1:500



E-E'断面図 1:500